

# 第35回 保育研究所研究集会

2014. 2. 8~9

## 徹底討論 — 新制度の主要論点をめぐって

子どもの権利の前進を目指して、関係者はどう行動・主張すべきか

予定

2月8日(土)

12時受付開始 / 午後1時~午後6時

●シンポジウム

### 新制度本格実施まであと1年? 新制度の主要論点の徹底討議

新制度の主要論点ごとに、問題点の指摘と対案提示を行い論議します。

伊藤周平(鹿児島大学)、杉山隆一(佛教大学)、田村和之(広島大学名誉教授)、  
村山祐一(保育研究所)、藤井伸生(京都華頂大学)、司会 逆井直紀(保育研究所)

1. 児童福祉法24条1項の意義と利用者の希望を実現する入所手続き・利用調整
2. 保育の公定価格と園経営、費用負担問題
3. 市町村の事業計画と確認制度
4. 認定制度と保育時間
5. 地域型保育の認可基準

2月9日(日)

午前9時30分~午後1時

●シンポジウム

### 新制度 幼保連携型認定こども園を考える

子ども・子育て関連3法の成立によって、幼保連携型認定こども園は、従前の認定こども園とはまったく異なる制度になりました。幼稚園・保育所からの移行を煽るような声が、政府関係者から出されていますが、この幼保連携型認定こども園の正確な姿が、正確に説明されているとは言い難い状況にあります。

本シンポジウムでは、幼保連携型認定こども園とはこういった施設なのか、法的な理解をもとにしながら、幼保連携型認定こども園が、保育に何をもたらすのか、こども園への移行が持つ意味について論議します。

コーディネーター 大宮勇雄(福島大学)

報告者 長瀬美子(大阪大谷大学) 保育実践の視点からこども園を考える

杉山隆一(佛教大学) こども園への移行問題を考える

小泉広子(桜美林大学) 関連3法と保育・教育、幼保連携型認定こども園

地域・園からの報告

2014年2月8日(土)13時~18時~9日(日)9時半~13時

会場 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ 2階研修室

- 都営地下鉄大江戸線 「牛込神楽坂駅」A1出口から徒歩8分
- JR中央・総武線/都営地下鉄新宿線 「市ヶ谷駅」から徒歩15分
- 東京メトロ南北線・有楽町線 「市ヶ谷駅」5・6番出口から徒歩10分
- 東京メトロ東西線 「神楽坂駅」矢来口から徒歩15分

参加費 10,000円(保育研究所会員は8,000円)

定員 100名(定員になり次第締め切ります)

申込み 必ず申込み前に電話で、定員充足状況をご確認の上、お申込み下さい。

郵便振替用紙に必要事項(住所、氏名、所属)を記入し、料金を添えてお申込み下さい。  
参加証をお送りいたします。

振込先 郵便振替 番号00190-8-38930 加入者名 保育研究所

お問合せ・お申込み先 保育研究所 〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ  
電話03-6265-3173 FAX03-6265-3230